

<自主的努力項目記入書式>

提携先	(株)マルハニチロ食品	記入日	2009/9/25
登録消費材名	中華ちまき		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

廃棄物の削減

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

昨年対比にて収率1%向上。廃棄物の削減に繋がった

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

落下物を減少させ収率1%向上を目標とする。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	(株)マルハニチロ食品	記入日	2009/9/25
登録消費材名	ピザクラスト (クリスピータイプ)		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

廃棄物の減少

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

昨年対比にて収率に変化なく、成果はあがらなかった

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

品位不良を減少させ、収率1%向上を目標とする

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株マルハニチロ食品	記入日	2009/9/25
登録消費材名	えび焼売		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

廃棄物の減少

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

昨年対比にて収率2%向上。廃棄物の削減に繋がった

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

品位不良・落下ロスを減少させ収率1%向上を目標とする

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株マルハニチロ食品	記入日	2009/9/26
登録消費材名	春巻、おべんとう春巻		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

生産効率の向上と廃棄物の削減を目標として改善努力を進めている(但し主要原料の不可食部の廃棄削減や成型機械特性上の製品化率改善には限界がある)

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

主要原料の不可食部の削減や成型機械特性上の製品化率の限界はあるが、工程条件の再確認や機械環境整備、落下防止等を中心に取り組んでいる
年度対比ではまだ目に見える効果としてでていないが、徐々に数字に反映されてきており、商品の性状によって異なるが製品化率1~5%の改善が期待できるところに来ている

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

製品化率改善の定着、安定

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株マルハニチロ食品	記入日	2009/9/25
登録消費材名	鮭とほうれん草のクリームソース、ティラミス		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

①冷凍ほうれん草を、加工場と同一県内で栽培された原料に変更した。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

- ①(社)日本冷凍食品協会の新認定制度(4年更新)を取得した。指摘を受けた項目について改善に取り組む。
②従業員教育の一環として、毛髪防止対策の教育と手順書の見直しを実施した結果、毛髪クレームが半減した。
③品質管理担当者を一名増員し、工程改善、各種マニュアル書の整備を行っている。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

- ①経費削減、環境保全を目的とする経費削減委員会を発足させ、エネルギー及び消耗品の使用量を前年比10%削減することを目標とし、取り組みを開始した。
②クレーム件数の前年比30%削減を目標に工程管理の更なる改善に努力する。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株マルハニチロ食品	記入日	2009/9/25
登録消費材名	男爵コロッケ、牛肉コロッケ、牛肉カレーコロッケ、お弁当かにクリームコロッケ、お弁当ホタテクリームコロッケ、栗コロッケ、卵・乳・肉を使っていないコロッケ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

1、生産時のロスの削減とロスの有効活用を行っている。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

- 1、ロスの削減は前年より3~5%程度削減できた。
2、上記について「ロス」の畜産農家への売却及び譲渡を行った。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

1、引き続き昨年以上のロスの低減を図る。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	(株)マルハニチロ食品	記入日	2009/9/30
登録消費材名	ロールキャベツ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

ボーンコネクター(骨など異物を除去するためのもの)を設置したことによって、異物混入(骨・軟骨など)のクレームが0件になり、より良い製品作りのために、従業員の指導に努力してまいりました。
キャベツの黒斑除去・重量不良・毛髪混入・菌の増殖などに注意して作業するよう朝礼等で製造する前に呼びかけ、作業中は管理者がチェックし従業員の意識向上を図って参りました。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

・毛髪混入に関しては、帽子の中に着用するネットとバンドを縫いつけ、作業中の帽子からはみ出しを無くし落下防止を致しました。
・菌の増殖については、手洗いの徹底・清掃の徹底を行い、機械・備品や従業員の手の拭き取り検査を実施し、効果を確認し作業者に指導し、作業者の意識向上を図りました。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

この一年、毛髪混入・菌数異常などのクレームは一件もなかったもので、成果は出ているのだと思われまます。
しかし、キャベツの黒斑が混入していたというクレームが一件あったので、作業中の選別の徹底を今年度は従業員全員で努力し、クレームゼロ件を目指したいと思ひます。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	(株)マルハニチロ食品	記入日	2009/9/25
登録消費材名	ホールカーネルコーン		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

異物混入防止の為、目視選別者への教育
新人従業員への衛生教育と実技教育

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

今年度はクレームを[0]にする事が出来た。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

今年度もクレームを『 0 』にする事。
従業員教育に力を入れ、衛生管理のレベルを向上させていく事。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株マルハニチロ食品	記入日	2009/9/9
登録消費材名	たい焼き、たこ焼き、ミニお好み焼き		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

新型設備の導入、新しい技術の取り入れと、品質管理と一体となり、工場巡回を増やし、一人一人の作業者に声をかけ、指導と教育を進めて参りました。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

外部より講師を招き、従業員教育を行い、従業員の意識レベルの向上と、イカリ消毒と協力して5S活動を進めました。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

クレームを出さない工場にする為に、定期的な原材料メーカーへの工場監査を行い、より安全な原料を供給して頂く。また、工場内で発生させない様、衛生管理・品質管理を実施し、従業員と共に努力致します。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株マルハニチロ食品	記入日	2009.10.10
登録消費材名	果汁グミミックス スティックチーズケーキ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

数量の2倍ハネに対する緊急生産対応

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

クレームの減少

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

クレームの減少

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株マルハニチロ食品	記入日	2009/9/28
登録消費材名	カニドリア、カニ爪クリームフライ、かにクリームコロッケ、かに甲羅グラタン		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

クレームのない製品作り

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

残念ながらカニドリアでクレームの発生がありました。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

毛髪チェック、選別工程での意識の向上を図る為の再教育等を実施して、クレームが発生しないように努力します。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株マルハニチロ食品	記入日	2009/10/1
登録消費材名	コーンポタージュ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

虫混入防止対策への取組み

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

捕虫状態の確認を毎月の品質会議の中で議論し対策してきました。
一応の成果は得られていると思います。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

場内約50箇所捕虫機の担当者割り振り、日々の捕虫数のカウントを実施し、増加箇所を追跡していきます。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	(株)マルハニチロ食品	記入日	2009.9.20
登録消費材名	さけ水煮缶		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

肉詰め方式を機械詰めにする事で能率の向上を図る。原料由来の異物削減のための各漁港への申し入れについても継続して実施している。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

原料を買い付ける各漁港に直接申し入れを実施。また、異物を発見する度にリアルタイムで各漁港に申し入れを行ってきたが、原料に異物付着はゼロにはならなかった。缶蓋については現在のところまだ軽量化には至っていない。今後も製罐メーカーと検討を続ける。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

シュリンクパックへの製造年月日のシール貼りの廃止。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	(株)マルハニチロ食品	記入日	2009/9/24
登録消費材名	焼売、あら挽き焼売、にらまんじゅう、蒸しえび餃子、小籠包		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

異物混入防止対策としては、4S活動を軸として製造室の環境整備を推進してきました。また、毛髪対策を含めた従業員教育に取り組んで参りました。特に、CCP(重要管理点)工程であります異物除去工程での排除品取り扱いルールにつきましては、間違いのないように取扱者を資格認定制にして取り組んでおります。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

筋・血管・獣毛・骨等の夾雑物削減に向け、納入業者への指導を年間計画を立て進めました。また、異物混入対策としては、エアシャワー室の運転時間を延長(20秒間)したり、職場での粘着ローラーチェックで挙げられた付着者に対するフォロー教育を行ってまいりました。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

畜肉由来夾雑物削減については、本年度も継続して業者指導を行い、自工場での選別ゲーターで効果の確認を進めてゆきます。また、自工程での洗浄ラインレイアウトの改良や選別者に対する技量確認や視力検査を定期的に行い、選別精度の向上を図ってまいります。毛髪混入対策につきましては、本年度作業服をポリエステル100%の素材に変更し毛髪の持ち込み防止に繋がりたいと考えております。